

# 施策評価(平成29年度)

## 1 基本項目

基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち
基本施策	3	生涯学習の推進
施策	5	生涯学習
基本方針		
だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">スポーツ施設の整備・充実(スポーツセンターエレベーター改修工事)</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト</a>	計画どおり完了	A	A	S	現状のまま継続
<a href="#">旧下田家住宅およびその生活用具の修復</a>	次年度以降計画を見直す	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">生涯学習センターゆとりぎ市民協働事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">大学との連携による講座の充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
<a href="#">企業等との連携による生涯学習事業、芸術鑑賞事業の実施</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">スポーツを通じた健康づくりの推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">社会教育関係団体の活動の充実にに向けた支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">市民ボランティアの育成と支援</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

### 3 施策評価結果

施策5「生涯学習」では、11事業について評価を実施した。

進捗状況については、10事業が「計画どおり完了」、1事業が国庫補助などの関係で「次年度以降計画を見直す」としており、施策全体としては、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、概ねA(適切なもの)と評価しており、一部の事業においてS(より適切なもの)と評価している。

有効性(成果)をS(より適切なもの)と評価している事業は、「多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト」であり、上総層群に関する、調査・分析・研究のデータの活用が期待できるものである。

これらを踏まえた結果、施策5「生涯学習」については、取組内容は順調に推移している。

今後の方向性については、「旧下田家住宅およびその生活用具の修復」において、平成30年度に補助対象となったことに基づき、着実な推進を図っていく。

「大学との連携による講座の充実」では、駿河台大学、亜細亜大学と平成30年度に向けて連携の足がかりを築くことができたことから、これをもとに充実を図っていく。

その他の9事業については、引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。

1.基本項目

事業名	作成部署		生涯学習 部 生涯学習センターゆとりぎ			
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施	平成	28年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01 伝統文化交流事業inゆとりぎの実施	平成	24年	継続	自治事務(市独自)	直営	
02 羽村市文化祭の実施	昭和	44年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
03		年				
04		年				
05		年				
関連課 東京オリンピック・パラリンピック準備室						
基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、日本の文化の魅力を再発見するためのイベントや講座などを開催します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	伝統文化交流事業inゆとりぎの実施	同左	同左	同左
	羽村市文化祭の実施	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	90H	1人	90H	1人	90H	1人	90H
主事・主任職	5人	450H	6人	450H	6人	450H	6人	450H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	8,300	8,950	8,950	8,950
人件費(係長職)	448	448	448	448
人件費(主任・主事職)	7,648	9,178	9,178	9,178
総事業費(合計)	16,396	18,576	18,576	18,576
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額	1,400	2,000	2,000	2,000
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	14,996	16,576	16,576	16,576
財源内訳(合計)	16,396	18,576	18,576	18,576

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	331	円		
イ 対象者	56,079	人における1人あたりのコストは、	331	円		
ウ 成果(物)	来場者	の 出来高	18,000 人	における1人 のコストは	1,032	円

※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<<改善点>>複数の補助金等の活用に努める。 ①日本芸術文化振興基金助成金(文化庁)、②まちづくり総合交付金地域特選枠(東京都)、③多摩の魅力発信支援補助金(東京都)など、

②活動実績

6月24日(土) 越中八尾おわら風の盆と西多摩の郷土芸能(高水山獅子舞)  
 10月7日(土)～11月3日(祝)第48回羽村市文化祭(展示・ホール発表・オペラ椿姫・松尾義之講演会他)  
 1月6日(土)～14日(日) ゆとろぎ伝統文化ウィーク(山鹿灯籠・中野七頭舞・御嶽神楽・邦楽サロンコンサート他)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	8,950	489	9,439	9,438	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	90H	1人	90H
主事・主任職	6人	450H	6人	450H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○伝統文化交流事業inゆとろぎの実施 ○羽村市文化祭の実施		○伝統文化交流事業inゆとろぎの実施 ○羽村市文化祭の実施

**Check【評価】**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性( ) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他( )	<b>A</b>
効率性( ) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他(文化庁(日本芸術文化振興基金助成金)・東京都(多摩の魅力発信支援補助金)を活用)	<b>A</b>
有効性( ) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

身近な会場で羽村市文化協会と連携して行うことで、市民のマンパワーの活用が図られた。また、質の高い芸術や貴重な郷土芸能を観賞する機会を設けることで、来観者から好評であった。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続     レベルアップ     縮小     実施主体の見直し     休止・廃止     完了

【改善点】

一層の集客対策を実施するとともに補助金等を獲得して歳入の増額を図る。また、経費の縮減についても合わせて検討する。

【今後の取組方針】

質の高い芸術鑑賞事業を展開し、オリンピックを通して多くの市民に文化芸術への参加を促し、スポーツの祭典とともに文化の祭典として市民の交流を図る機会とする。

1.基本項目

事業名	作成部署	生涯学習部			スポーツ推進課	
		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進		年				○
01 スポーツ習慣定着促進事業	平成	28年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
02 市民体育祭へオリンピック・パラリンピアンを招致	不明	年	その他	自治事務(市独自)	直営	○
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	東京オリンピック・パラリンピック準備室					
基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	市民のスポーツの推進を図るため、東京2020大会の気運醸成に向けた取組みを推進します。また、東京2020大会を契機に、スポーツへの関心を高め、スポーツに触れる機会の少ない市民が日常的にスポーツに親しむ取組みを促すことで、市民のスポーツ習慣の定着を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	小・中学生「走り方教室」(初心者編) 延344人	同左 延400人	同左 延400人	同左 延400人
	小・中学生「走り方教室」(競技力向上編) 延240人	同左 延240人	同左 延240人	同左 延240人
	小・中学生「フィジカルトレーニング(体幹)教室」(競技力向上編) 延209人	同左 延240人	同左 延240人	同左 延240人
	障害者スポーツのススメ! 延60人	同左 延60人	同左 延60人	同左 延60人
	歩くことからはじめよう 延55人	同左 延60人	同左 延60人	同左 延60人
	市民体育祭へオリンピック・パラリンピアンを招致 延4,132人	同左 延4,100人	同左 延4,100人	同左 延4,100人

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	190H	1人	100H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	2人	120H	2人	100H	2人	100H	2人	100H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	2,000	2,000	2,000	2,000
人件費(係長職)	946	498	498	498
人件費(主任・主事職)	816	680	680	680
総事業費(合計)	3,762	3,178	3,178	3,178
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	2,000	2,000	2,000	2,000
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,762	1,178	1,178	1,178
財源内訳(合計)	3,762	3,178	3,178	3,178

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 57 円  
 イ 対象者 440 人における1人あたりのコストは、 7,223 円  
 ウ 成果(物) 参加者 の 出来高 440 人 における1人 のコストは 7,223 円  
 ※ 対象者: 事業の参加者

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	市民が文化スポーツの振興を通じた魅力と感動を享受していけるよう、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組基本方針」に沿って、気運醸成に取り組むこと。

②活動実績

運動初心者や競技力向上、障害者スポーツなどすべての事業を計画どおり実施することができた。  
また、第70回市民体育祭では、オリンピック・パラリンピアンを招致し、〇×クイズを出題するなど、オリンピック・パラリンピックの気運を高めることができた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,000		2,000	907	45.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	2人	100H	2人	100H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○走り方教室(初心者編) 延400人 ○走り方教室(競技力向上編) 延240人 ○フィジカルトレーニング教室 延240人 ○障害者スポーツのススメ 延60人 ○歩くことからはじめよう 延60人 ○市民体育祭へオリンピック等の招致 延4,100人	○走り方教室(初心者編) 延319人 ○走り方教室(競技力向上編) 延139人 ○フィジカルトレーニング教室 延185人 ○障害者スポーツのススメ 延47人 ○歩くことからはじめよう 延28人 ○市民体育祭へオリンピック等の招致 延5,029人

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

小学生から高齢者、障害者と様々な方を対象としたスポーツ教室を提供することで、スポーツ習慣の定着を図るとともに、東京2020大会に向けた気運醸成につなげることができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

参加者が少ない事業もあるので、募集方法を含めて広報の強化に努めていく。

【今後の取組方針】

市民体育祭でオリンピック・パラリンピアンとの交流を通じて、東京2020大会を身近に感じながら、様々な市民スポーツを提供することでスポーツ実施率を高めスポーツ習慣の定着に努めていく。



1.基本項目

事業名		作成部署	生涯学習部		スポーツ推進課	
00 スポーツ施設の整備・充実		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
		平成 28年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	建築課、土木課					
基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	既存のスポーツ施設を維持・管理し、老朽化に伴う整備、高齢者や障害者などに配慮した改修等を行っていきます。また、市民ニーズを的確に捉えながら、スポーツ公園の整備などについて計画的に実施していきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	江戸街道公園整備についての調査・検討	同左  スポーツセンターエレベーター改修工事	同左	検討結果に基づく整備の推進

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	50 H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	1人	100 H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費		20,000		
人件費(係長職)		249		
人件費(主任・主事職)		340		
総事業費(合計)		20,589		
国庫支出金				
都支出金		9,060		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		11,529		
財源内訳(合計)		20,589		

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了     計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)     遅延     中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

スポーツセンターのエレベーター改修工事の実施(バリアフリー対応)  
スポーツ公園整備に向けた検討

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	20,000		20,000	19,872	99.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	100 H	1人	100 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○エレベーター改修工事 ○スポーツ公園整備に向けた検討		○エレベーター改修工事 ○スポーツ公園整備に向けた検討

**Check(評価)**

**6.事業の評価**    S…より適切なもの    A…適切なもの    B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<b>妥(必要性)</b> <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>効(手法性)</b> <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>有(成果性)</b> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

スポーツセンターのエレベーター改修工事は多少遅延があったものの、計画どおり実施した。  
既存施設の維持管理及び老朽化に伴う改修、障害者などに配慮したバリアフリー化については引き続き検討していく。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続     レベルアップ     縮小     実施主体の見直し     休止・廃止     完了

【改善点】

【今後の取組方針】

誰もが生涯を通じて心身ともに健康な生活を送ることができるよう、スポーツ環境の整備を検討していく。



1.基本項目

事業名		作成部署	生涯学習部			郷土博物館
00 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
		平成 29 年	期間設定3年	自治事務(市独自)	その他	
01	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト	平成 29 年	期間設定3年	自治事務(市独自)	その他	
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標 1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No.	5

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	多摩川中上流域の上総層群については、河川敷などのわずかな露出部分しかなく情報が少ないうえに、地域を超えた総合調査がなされておらず、詳細な状況が把握されていないことから、これまで各自治体の博物館等に蓄積された情報を一元的に網羅するとともに、地域内の連携により、道路や公共施設、大規模工場などの建築に際して行われたボーリング調査結果などを活用し、地層群の状況を明らかにする。
根拠法令	
条例	
要綱等	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト実行委員会設置規約

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト企画立案	多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト ①先行する調査研究資料の収集と分析 ②各自治体における関連情報の保有調査 ③②のデータ集約 ④地質・古生物・水質に関する調査 ⑤各項に基づく研究	同左 ①初年度からの継続事業 ②各分野のまとめ(中間報告等) ③教育支援資料の検討 ※事業を検討する中で事業費を算定	同左 ①二年度からの継続事業 ②全体の成果の総合 ③成果物の作成・実行委員会での共有化・公表 ※事業を検討する中で事業費を算定

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	48 H	1人	48 H	1人	48 H
主事・主任職	人	H	1人	48 H	1人	48 H	1人	48 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費		4,064	-	-
人件費(係長職)		239	239	239
人件費(主任・主事職)		164	164	164
総事業費(合計)		4,467	403	403
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源		4,064		
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)		403	403	403
財源内訳(合計)		4,467	403	403

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 80 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 の コストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

1 上総層群に関する調査・研究  
2 各自治体における関連情報の保有調査及び集約③報告書・地質図・学習支援資料等の作成(データ化含む)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	4,064		4,064	4,032	99.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	48H	1人	40H
主事・主任職	1人	48H	1人	42H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○地理学－露頭調査 ○古生物学－他館調査 ○水文学－採水調査・水質分析など	⇒ ○地理学－露頭調査 ○古生物学－他館調査 ○水文学－採水調査・水質分析など

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(多摩地域の各自治体に不足している情報である)	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他(羽村市が有しない情報、知見の活用)	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	S

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

【①地理学】上総層群の分布深度・層序・年代などを明らかにすることで、資料館等で将来的な調査・分析の基礎データとして活用が期待される。  
 【②古生物学】上総層群から産出する脊椎動物化石は、専門研究者間で知られていないため、調査・研究することで詳細データの活用が期待できる。  
 【③水文学】上総層群中に胚胎している地下水を水道水源に活用している自治体も多く、今回新たに得られる基礎データの活用が期待できる。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

【1 調査研究事業】①自治体等保有地質データ等の収集(継続)②自治体等保有地質データ・コアの集約と分析(継続・新規)③民間保有井戸のボーリングデータ・コア調査と分析(継続・新規)④露頭調査(継続)⑤砂礫等の供給源確認調査(新規)⑥地下水等調査・分析(継続・新規)⑦各自治体保管化石実地調査(継続)⑧各自治体化石産出地層実地調査(新規)⑨上総層群産出脊椎動物化石の調査・分析(継続・新規)⑩その他附帯調査・研究

【2 調査・研究成果の可視化】

①学術論文等の作成②主題図等の作業準備③報告書等の構成・内容の検討

【3 学習支援資料作成】

①小中学校現場の社会科地理的分野の現状確認②教員による構成・内容の検討

1.基本項目

事業名		作成部署	生涯学習部			郷土博物館
00 旧下田家住宅及びその生活用具の修復		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
		昭和 29年	今年度限り	自治事務	業務委託(全部)	
01	旧下田家住宅一部修繕(屋根及び天井)	昭和 29年	今年度限り	自治事務	業務委託(全部)	
02						
03						
04						
05						
関連課						
基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No. 6

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	(1)茅葺屋根の修復(2)住宅各部の造作等の修復(3)生活用具(民具)のうち、損耗が見られるものの修復を行う。
根拠法令	東京都文化財保存事業費補助金交付要綱
条例	文化財保護条例・東京都文化財保護条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	旧下田家住宅修復部分検討	旧下田家住宅茅葺屋根の修復 旧下田家住宅デイ・ヒロマの天井修復	旧下田家住宅ダイドコロ土間の修復 旧下田家住宅デイ量の修復 旧下田家住宅木工事(床・建具等の修復)	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	8H	1人	12H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	1人	12H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費		5,022	8,783	
人件費(係長職)	40	60		
人件費(主任・主事職)		41		
総事業費(合計)	40	5,123	8,783	
国庫支出金		2,511	4,391	
都支出金		1,255	2,195	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	40	1,357	2,197	
財源内訳(合計)	40	5,123	8,783	

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 91 円  
 イ 対象者 30,531 人における1人あたりのコストは、 168 円  
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円  
 ※ 対象者: 来館者

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

年度当初、国内の自然災害による文化財被災により、補助対象文化財としての優先順位が繰り下げられ補助対象外となった。しかし、茅葺屋根等の腐朽・損耗・部材落下等の状況を報告し、修理工事の必要性を説明したところ平成30年度の文化財国庫補助金の対象となった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	5,022	▲ 5,022		0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	12H	人	24H
主事・主任職	1人	12H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○旧下田家住宅の屋根葺き替え、天井竹箆子取替え修理工事予定	⇒ ○自然災害の影響で平成29年度の補助対象外となったが、文化庁と交渉の結果、追加の修繕部分も含め、平成30年度の補助対象事業として採択された。

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

年度当初は、国内の自然災害の影響により文化庁の補助対象外となった。しかし、東京都と調整し平成30年度・平成31年度に分けて文化財関係国庫補助金事業計画書を提出し、平成30年度に予定どおり補助対象となった。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

当初、旧下田家住宅の屋根葺き替え工事及び天井竹箆子取替え修理工事が予定されていたが、さらに木部造作(フロバ回り)の格子取替えも追加となり補助対象となった。

**【今後の取組方針】**

平成31年度も引き続き、旧下田家住宅の外部土壁の全面、ダイドコロ土間補修工事及びデいの畳等取替え修理工事が補助対象となる予定である。

1.基本項目

事業名	作成部署		生涯学習 部 生涯学習センターゆとろぎ			
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○	
01 芸術観賞事業	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
02 展示	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
03 市民講座		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標 1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No. 8	

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	市民組織と協働して、市民ニーズや社会の要請に応えられる生涯学習センターゆとろぎの事業を展開します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市民協働事業の実施 芸術観賞事業 7事業 展示 5事業 市民講座 14事業 協働事業HPの更新等	同左 芸術観賞事業 8事業 展示 5事業 市民講座 18事業 協働事業HPの更新等	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	471 H	1 人	471 H	1 人	471 H	1 人	471 H
主事・主任職	5 人	2,335 H	5 人	2,335 H	5 人	2,335 H	5 人	2,335 H

②事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	10,386	10,386	10,386	10,386
人件費(係長職)	2,344	2,344	2,344	2,344
人件費(主任・主事職)	39,684	39,684	39,684	39,684
総事業費(合計)	52,414	52,414	52,414	52,414
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	52,414	52,414	52,414	52,414
財源内訳(合計)	52,414	52,414	52,414	52,414

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	935	円		
イ 対象者	280,000	人における1人あたりのコストは、	187	円		
ウ 成果(物)	入館者	の 出来高	280,000 人	における1 人 のコストは	187	円

※ 対象者:



**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	レセプトニストの活動については、依頼数が増加する中で、対応人員が不足していることから、平成29年度において、レセプションニスト養成講座を実施して会員の増強を図った。養成講座を実施した結果、新たに14名の会員が加わった。

②活動実績

芸術鑑賞8事業、展示5事業、市民講座11事業を実施し、ゆとりぎイベントガイドWEB版を更新した。また、サポートグループ「レセプションニストの会」「保育さくらんぼ」「舞台操作」「植栽管理」による施設利用者へのサービス提供を行った。各種事業は子どもから高齢者、子育て世代など様々な対象を考慮して、市民ニーズや社会の要請に応えられるように実施した。市民講座は14事業を予定していたが、事業を精査し、11事業実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10,386		10,386	10,325	99.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	471 H	1人	471 H
主事・主任職	5人	2,335 H	5人	2,335 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○芸術鑑賞 7事業 ○展示 5事業 ○市民講座 14事業 ○協働事業HPの更新等	○芸術鑑賞 8事業 ○展示 5事業 ○市民講座 11事業 ○協働事業HPの更新等

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 市民ボランティアと協働で実施することで効率性を上げている。 )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

市民ボランティアが社会で身に付けた知識や技能、民間の発想力などを活かし、市民ニーズに即した事業展開が出来ており、循環型の生涯学習事業の取り組みとして質の高い事業が出来ている。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

「ゆとりぎ協働事業運営市民の会」が発足して12年が経過し、ボランティア会員の高齢化、固定化が進み、会員数も減少している。会員を増し、活動の活性化を図る必要がある。

【今後の取組方針】

ゆとりぎ主催事業の一部について、市民ボランティアの知識や技能を活かした事業を協働で実施していく。また、レセプションニスト、保育士、舞台操作、植栽管理のサポートボランティア会員の補強を図りながらゆとりぎ利用時のサービス向上を図っていく。



1.基本項目

事業名		作成部署	生涯学習 部 生涯学習センターゆとろぎ			
00 大学との連携による講座の充実		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
		平成 21 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01						
02						
03						
04						
05						
関連課						
基本目標 1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No.	9

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	大学と連携・協力し、大学の知的資源を活用した、質の高い学習機会を提供します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	大学と連携した講座 講座3事業	同左 講演・講座3事業以上	同左 講演・講座3事業以上	同左 講演・講座3事業以上

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	2 人	100 H	2 人	100 H	2 人	100 H	2 人	100 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	360	360	360	360
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	680	680	680	680
総事業費(合計)	1,040	1,040	1,040	1,040
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額	180	180	180	180
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	860	860	860	860
財源内訳(合計)	1,040	1,040	1,040	1,040

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 19 円  
 イ 対象者 48,500 人における1人あたりのコストは、 21 円  
 ウ 成果(物) 講座参加者 の 出来高 300 人 における1人 のコストは 3,467 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
杏林大学との連携を深めるとともに、他大学との連携についても推進する。		

②活動実績

- 杏林大学連携講座「やさしく学ぶ簿記の初歩」
- 杏林大学連携講座「好奇心から始まる国際理解」
- 杏林大学公開講座「日常生活にちょっと役立つポジティブ心理学」
- 杏林大学学生連携講座「『競技かるた』でつなぐ地域の輪 老若男女で学ぶ競技かるた講座」
- 杏林大学学生連携講座「日本が誇る世界遺産 ～意外と知らない日本の魅力再発見講座～」
- 首都大学連携講座「世界自然遺産 小笠原を知る」

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	360		360	330	91.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	2人	100 H	2人	100 H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
○講演・講座 3事業以上		○講演・講座 6事業実施

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

連携先と良好な関係を築き、質の高い生涯学習の機会を増やすことができた。また、杏林大学との良好な関係を土台に、駿河台大学、亜細亜大学の地域連携部署を紹介され、平成30年度に向けて連携の足がかりを築くことができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

参加者数が少ない講座がある。コンスタントに参加者数を確保するため大学連携事業のPR方法について検討する必要がある。

**【今後の取組方針】**

大学関係者との良好な関係を維持することで、智の資源や大学ネットワークが活用できるように努め、連携先を広げていく。

1.基本項目

事業名	作成部署		生涯学習 部 生涯学習センターゆとろぎ			
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 企業等との連携による生涯学習事業、芸術観賞事業の実施	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標 1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No.	10

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	企業や財団などと連携・協力し、最先端の科学、技術の紹介講座や、質の高い芸術鑑賞事業を実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	大・小ホールでの公演事業 3公演	同左 5公演	同左 3公演	同左 3公演

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H	人	100 H	人	100 H
主事・主任職	5人	500 H	5人	500 H	人	500 H	人	500 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				
人件費(係長職)	498	498		
人件費(主任・主事職)	8,498	8,498		
総事業費(合計)	8,996	8,996		
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	8,996	8,996		
財源内訳(合計)	8,996	8,996		

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	160	円		
イ 対象者	56,079	人における1人あたりのコストは、	160	円		
ウ 成果(物)	入館者	の 出来高	6,000 人	における1人 のコストは	1,499	円

※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	新たな連携先の開拓に努める。

②活動実績

非営利活動法人が保有する専門性の高い事業(クラシックコンサート、落語公演、美術鑑賞講演)を共催で実施することで市民に良質な事業を提供することができ、経費の削減も図ることができた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	5人	500H	5人	500H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○大・小ホールでの公演 5事業	○大・小ホールでの公演 14公演

**Check(評価)**

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 公益財団法人等の財源や事業実施のノウハウを活用し、効率的に実施できた。 )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

クラシック、落語、ミュージカル、美術鑑賞講演会など、身近な会場で提供することで施策の基本方針である、いつでも、どこでも楽しく学び、喜びや充実感をもてる環境づくりに沿った事業となっており、併せて大幅な経費の削減にもつながっている。

**Action(改善)**

8.今後の方向性

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

共催事業として質の高い鑑賞事業を無料にて提供している。このことで広く市民に観賞の機会を提供できているが、市民がチケットを購入して会場に足を運び音楽を楽しむ風土を養い芸術家を育成するという観点からは課題が残る。

【今後の取組方針】

既存の共催相手との信頼関係を深めるとともに、新たに、質の高い事業を実施する非営利団体等との共催事業を推進する。また現在、無料で実施しているコンサートを有料公演(500円程度)に出来ないか検討をする。

1.基本項目

事業名	作成部署		生涯学習部		スポーツ推進課	
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 スポーツを通じた健康づくりの推進		年				○
01 健康づくり教室	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
02 健康・スポーツフォーラム	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	健康課					
基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No. 11

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	市民の健康増進を図るとともに、スポーツによって市民相互のふれあいや親睦を深めるため、スポーツを通じた健康づくりのイベントや教室などを開催します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	健康づくり教室	同左 1回20人	同左 1回20人	同左 1回20人
	10月 14人 11月 10人 12月 11人			
	健康・スポーツフォーラム 1回 3月18日 定員50人	同左 1回	同左 1回	同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	1人	20 H	1人	20 H	1人	20 H	1人	20 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	113	113	113	69
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	68	68	68	68
総事業費(合計)	181	181	181	137
国庫支出金				
都支出金	25	25	25	18
受益者負担額	10	10	10	10
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	146	146	146	109
財源内訳(合計)	181	181	181	137

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物) の 出来高  のコストは  円

※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

初心者向け美BODY教室を6/9～7/14に、ステップアップ美BODY教室を10/13～11/17に開催し延べ160人の参加があった。また、健康・スポーツフォーラムを1回開催した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	113		113	63	55.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	1人	20 H	1人	20 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○健康づくり教室 1回 20人 ○健康・スポーツフォーラム 1回		○健康づくり教室 2回 35人 ○健康・スポーツフォーラム 1回

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

健康課と連携した本事業は、健康づくりの推進に役立っており、市民ニーズを把握しつつ効果的に事業を展開している。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

健康づくり教室を初心者にも参加しやすいように実施し、2回目にステップアップ編を行うことで継続性を持たせた。

**【今後の取組方針】**

健康づくり教室は、参加者の反応を見つつ、さらに効果的な取り組みにしていく。  
健康・スポーツフォーラムは、健康づくりに役立つ知識を分かりやすく習得できるよう健康課と十分に調整を図り実施していく。



1.基本項目

事業名		作成部署		生涯学習部		生涯学習総務課	
		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 社会教育関係団体の活動の充実に向けた支援			年				
01	社会教育関係団体の登録	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
02	団体・サークルガイドの発行	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
03	社会教育関係団体への補助金の交付	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
04			年				
05			年				
関連課	スポーツ推進課、地域振興課						
基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No.	12

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	社会教育関係団体の活動内容を紹介するための団体・サークルガイドを発行するとともに、活動に対する財政支援を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市社会教育関係団体登録要綱、羽村市社会教育関係団体補助金交付規則等

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	団体・サークルガイドの発行	同左	同左	同左
	社会教育関係団体への補助金の交付	同左	同左 社会教育関係団体の登録	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	20H	1人	10H
主事・主任職	1人	30H	1人	40H	2人	100H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	2,463	2,463	2,463	2,463
人件費(係長職)	50	50	100	50
人件費(主任・主事職)	102	136	680	102
総事業費(合計)	2,615	2,649	3,243	2,615
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,615	2,649	3,243	2,615
財源内訳(合計)	2,615	2,649	3,243	2,615

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

社会教育関係団体の活動に対し、今年度は文化系の青少年団体3団体、成人団体5団体の計8団体に計321千円、スポーツ団体12団体(所管はスポーツ推進課)に2,008千円の補助金を交付し、財政的な支援を行った。

また、社会教育関係団体の活動内容を広く市民等に周知するため、地域振興課と連携し、「団体・サークルガイド」を作成し、関係各所に配布するとともに市公式サイトにも掲載した。

③投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,463		2,463	2,335	94.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	5 H
主事・主任職	1人	40 H	1人	30 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○社会教育関係団体の活動内容を紹介するための団体・サークルガイドを発行するとともに、活動に対する財政支援を行う。	⇒ ○団体・サークルガイド掲載:学習・文化系99団体、スポーツ系117団体、文化協会加盟団体47団体の計263団体 ○社会教育関係団体補助金の交付:学習・文化系8団体、スポーツ系12団体の計2,329千円

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他( )	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他( )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

社会教育関係団体への様々な活動支援を通じて、市民の生きがいづくりとしての学習活動をサポートしてきた。今後、更なる社会教育関係団体の発展・充実を図る観点から、市が主催する初心者講座を通じて、新たな社会教育関係団体の創設や既存の団体の発展・充実をめざし、取り組んでいく。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

社会教育関係団体の登録数が減少傾向にあることから、既存団体の効果的な周知方法ならびに新規に創設される団体のサポートを検討する。

**【今後の取組方針】**

市が主催する初心者講座を通じて、既存団体への加入促進に努めるとともに、新たな団体の創設を目指していく。

新設団体については、財政的支援はもとより、団体創設に至るまでのサポートも必要になることから、担当者と連携して、取り組んでいく。

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活部			地域振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 市民ボランティアの育成と支援		平成 23 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標 1	生涯を通じて学び育つまち	施策区分	5	生涯学習	重点事業No.	13

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。
事業内容	ボランティアの質を高め、ボランティア活動が積極的に行えるよう、各種市民ボランティアの養成講座などを実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市民活動ボランティア講座等の実施(1回)	同左(1回) 東京2020大会に向けた事業の検討	同左(1回) 東京2020大会に向けた事業の実施 1回	同左(1回) 同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	16H	1人	16H	1人	16H	1人	16H
主事・主任職	1人	24H	1人	24H	1人	24H	1人	24H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	25	25	50	50
人件費(係長職)	80	80	80	80
人件費(主任・主事職)	82	82	82	82
総事業費(合計)	187	187	212	212
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	187	187	212	212
財源内訳(合計)	187	187	212	212

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」の実施(開催日H29年7月5日・12日・19日、参加者数28人)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	25		25	0	

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	16H	1人	16H
主事・主任職	1人	24H	1人	24H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」の実施	○「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」の実施

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他( )	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他( 東京都共催事業 )	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

ボランティア育成講座を実施することで、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動の促進が図られた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

従来の講座実施の他に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツ関係団体などを対象とした、「外国人おもてなし語学育成講座」の検討

【今後の取組方針】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え外国人観光客が安心して滞在できる環境を整えるため、引続き講座を開催する。